

平成27年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市馬宮コミュニティセンター外3施設
(2) 施設概要	<p>①所在地 さいたま市西区大字西遊馬533番地1(さいたま市馬宮コミュニティセンター) さいたま市西区三橋6丁目642番地4(さいたま市西部文化センター) さいたま市大宮区堀の内町1丁目577番地3(さいたま市大宮工房館) さいたま市大宮区高鼻町2丁目292番地1(さいたま市高鼻コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要 (さいたま市馬宮コミュニティセンター) 【開館】平成14年5月7日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】5,661.47㎡ 【延床面積】5,270.93㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員298名)、第1集会室(定員45名)</p> <p>(さいたま市西部文化センター) 【開館】平成2年12月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 【敷地面積】5,311.07㎡ 【延床面積】4,897.71㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員420名)、音楽室(定員50名)</p> <p>(さいたま市大宮工房館) 【開館】平成10年5月11日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】1,240.34㎡ 【延床面積】1,691.90㎡ 【主要施設】第1ワークスタジオ(定員25名)、アトリエ(定員20名)</p> <p>(さいたま市高鼻コミュニティセンター) 【開館】昭和48年6月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 【敷地面積】1,105.81㎡ 【延床面積】2,010.12㎡ 【主要施設】大会議室(定員120名)、視聴覚室(定員40名)</p>
(3) 指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成25年度 223,533千円 平成26年度 229,920千円 平成27年度 229,920千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 【利用件数】32,613件(前年度 31,076件) 【利用人数】304,428人(前年度 295,377人) 【稼働率】73.8%(前年度 74.8%) 【利用率】38.5%(前年度 37.4%)</p> <p>◇業務実施状況 ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸し出し</p> <p>②維持管理業務の状況 ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施</p> <p>③その他(自主事業等) 【自主事業(さいたま市馬宮コミュニティセンター外3施設)】 ・焼きたてパンとサラダ講座(12)、書初め講座(20)、つるし雛講座(29)、クリスマスコンサート(38)等、各種講座を開催 ※()内の数字は、参加人数</p>
(6) 収支状況	<p>①収入 ・指定管理料 229,920千円 (前年度 229,920千円) ・自主事業収入 1,143千円 (前年度 1,325千円) ・その他収入 1,455千円 (前年度 843千円)</p> <p>②支出 ・人件費 94,611千円 (前年度 94,523千円) ・事務費 1,286千円 (前年度 1,247千円) ・施設管理費 131,484千円 (前年度 135,155千円) ・自主事業費 2,362千円 (前年度 2,446千円)</p>
(7) その他	地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	子どもから大人まで、幅広い年齢層を対象に各種講座を開催したほか、コミセンまつりやコンサートなど、合計99事業を実施し、9,301名の参加者を得た。 また、市内16のコミュニティセンターと2つのプラザにおいて地域支援の場の提供を目的とした「ぐるりパネル展～みなさんの活動をひろく広報しましょう～」を市民活動サポートセンターと協働開催した。
コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業	事業団ホームページや事業団情報誌SaCLaの発行により、施設で実施する講座等を紹介するとともに、コミュニティセンターだよりを月1回発行し、施設の利用情報や、施設を取り巻く地域の情報を掲載し、市民への情報提供に努めた。 また、施設利用に関する案内以外にも積極的に対応するため、市民相談コーナーを設置し、問題解決のための情報を提供するとともに、関係機関の紹介を速やかに行った。馬宮コミュニティセンターにおいては、利用団体の発表の場として貸出しをしている「ふれあいラウンジ展示コーナー」の利用がない期間には、自施設の情報掲示を行い、掲示場所の拡大を図った。
施設の貸出	パソコンが苦手な方のために予約を補助、代行するとともに、接遇研修の受講等を生かし、丁寧な接客を心がけ、施設利用者及び利用率の増加に努めた。西部文化センターにおいては、受付に筆談ボードや老眼鏡を設置するとともに、毎月の行事予定表をロビーに掲示するなど、利用者の利便性向上を図った。 また、利用する施設以外のコミュニティ施設で申請・入金ができる「他館申請」サービスにおいては、全施設の合計で4,951件、5,397,790円を取扱った。
施設維持管理	指定管理協定書の維持管理計画表に基づき、施設・設備等の保守点検や清掃を実施するとともに、適切な修繕を行い、安全かつ快適な環境整備に努めた。 また、電気・水道・ガス等の省エネに取り組み、光熱水費の縮減を図りつつ、管理運営に必要な物品等について、できる限り再生品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。
市施策事業との連携	馬宮コミュニティセンターにおいて、「演芸大会」を老人福祉センター馬宮荘と、「うたおう、あそぼう、たんさいぼうコンサート」を馬宮児童センターと、「彩の国21世紀郷土かるた西区大会」を西区子ども会育成連絡協議会と共催事業として開催し、連携を図った。 また、高鼻コミュニティセンターにおいては、児童作品展を「大宮北・東小学校」と開催し、連携を図った。
利用者満足度調査	施設利用者には「職員の対応」・「施設・設備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。 また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口を設置したほか地域連絡協議会において、報告を行った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

利用者が安心・安全、かつ快適にご利用いただけるよう、法令に基づく法定点検のほか、設備や備品等の適正な維持管理に努めた。また、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)を具体化した、「コミュニティ振興プラン」に基づき、地域において学習できる環境及び市民・団体同士が交流を深めることができるような事業を実施した。
今後においては、地域の意見を取り入れながら施設運営に努めるとともに、広報活動の強化を図り、利用者の増加に努めます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価(B)※A~D
 ・馬宮コミュニティセンターは、複合施設であるため、施設の管理面で大変な部分も多いと思われるが、館内の施設同士の連携が上手くとれており、共催事業を積極的に展開するなど、施設の利点を生かした管理運営が行われている。
 ・西部文化センターでは、近隣公民館との差別化と相互の機能の補完を考慮して事業展開しており、施設の生涯学習機能を効果的に発揮している。
 ・大宮工房館は、他のコミセンとは違い、創作活動等に特化した施設であるため、その利点を生かした事業展開がされているが、芸術以外の自主事業についても実施しており、多くの人々に利用してもらおうという工夫がみられる。
 ・高鼻コミュニティセンターでは、黒板を設置して気軽に来館できる雰囲気作りをしたり、利用者とのコミュニケーションを積極的に図ったり等、特にソフト面で居心地のよい施設づくりがなされている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。